

UNIVERSITY LIBRARY,
BERKELEY, CALIFORNIA.

○社會革命黨宣言

領

第一 第二 第三 第四 第五

KAKUMEI

(The Revolution)
Central Organ of the

Revolutionary party
o. 1 20th Decemb

THE REVOLUTION.

are glad to be able to sta

publication... The Revolution is ready. We have some time.

will be sure to wake the labor.

The Japanese-Socialist Movement in California

There are three socialist par-

Japanese. The State Socialist Party of Tokio a socialist.

Revolutionary Party of Bengal, which was organized in

California, June 1st, 1906.
the present time poverty

terrific pace while the con-
sultant health in the institution of

trifling legislation which

89

25

107

（一）我黨は現時の國家的人種的偏執
（二）我黨は本部を台衆國キヤリ
（三）世界各國に置く
（四）我黨の費用は黨員及び同情
（五）我黨は幹事數名を置く
（六）我黨は黨員多數の決議
により改正する事を得
一千九百〇六年
社会革命黨
No. 1 20th December 1906
The Revolution
Central Organ of the Social
Revolutionary party
KAKUMEI
(The Revolution)
The Japanese Socialist Movement in California

toward the President as this time for his consideration. We have now very little time left to hear your views and its vicissitudes as to what we can do. I am sure we will be a American without ever having to go through the late experience of the Civil War. The States of America will soon be in a position to do all kinds of original and fighting work, and to have been able to do so much good to the working class, we have not come to a standstill. We have been able to tell on t cushion on t

the American workers that are on every trying side
true, but even so, a mere little trouble at our undertakings, especially
the papers and talkies, is a big trouble at San Francisco.
It. War under the capital will never benefit workmen
this fact to them out of the way. San Fran
it is our mission to tell
workers also that we are creating
ourselves into a Union
the cause of the workers
and difficulties. Our
one positive in spite of so many
differences. Our
do here in the United States
by the American work
they will no doubt, co-operate
with us to this the American
is our mission to organize
our Japanese workers in
the ultimate aim of work
attained by the very compo
workers nationally and internat
older disadvantages situated
ind that the Japanese are
complaints often presented
unions that Japanese
far cheaper than American
meted by the co-operation
is not, all true that
less wages than American
any other nationality. By
the workers not organized
the workers in Japan
oppress those of Japan
in other country. Now
better and effectively shrou
fight the cause of
effectively and skilfully
an workers might do. The
same reason for the workers
oppress those of Japan
as I can,
Yours truly,
S. J. Katayananma

日本の時事

● 満洲の日本 明治卅四年調に由れば日本の貸座敷數一萬六百三十九戸、娼妓四萬三百三十五人、登場客數千五百萬人（即ち娼妓一人に就て一年三百七十一人強の割）其遊興費二千萬圓餘娼妓飲食店屋女は九萬六千百三十八人、此外に全國を通じて二十萬以上の賣春あるべしと云ふ。

● 平民社復興

當路の迫害と財政の窮乏に堪へず恨を呑んで解散せし平

民社は博士重來、春一月より日刊平

民新聞を發行することなり、日本

政府の振興と紳士閥の恐怖と社會主義運動の前途想見するに堪へたり、

平民政約東下の如し。

● 平民社は社會主義の日刊新聞及

書籍雑誌を發行する目的とし創

立人、出資人、社員及び雇員を以

て之を組織し、且つ社務に關す

る質問發言の権を有す。

● 社の大事は經營創立人の合議に

依りて之を決行す。

● 出資人は社務の報告を受け、利

益の分配に與り、且つ社務に關す

る質問發言の権を有す。

● 社員は理由なくして退社せしめ

らるることなし若し創立人に於て

其必要を認むる時は明かに其理由

を示して社員の同意を求むべし

● 社員は利益の分配に與り、且つ

雇員の進退は各創立人其分擔の

範圍内に於て便宜之を決行す。

● 扶助料強奪等の犯罪 無辜

扶助料強奪等の罪犯として欺罔盜賊

博の罪を犯して入獄するもの類々た

り、雖には名譽ある軍人遺族と稱揚

來今日迄千二百回の勤儉演説

勤儉耶蘇

して有名なる金森通倫は三十四年以

て一千二百回はさて置き一萬回の勤儉

遊民を撲滅するにしかず。

● 軍旗燒失事件 在韓國步兵第四十

九聯隊に於て大元帥陸下的御名代た

る聯隊旗を燒失したりて師團長以

下各連責謹に處せらる、軍國主義

の道德は愚なるものはあらざる可

し、新聞記者先生は軒昂この問題を

論する勇氣を有し乍ら他方彼等が常

に可憐なる兵士の食料の上前を剥ね

て機知なる兵士を肥やしつゝあるを覗視するは

奇怪なること云はざる可からず

● 天下の醜漢雨宮敬次郎古稀の祝筵を擧げんとして一萬三千本

の丸太を縦横に結び二百五十名の人

夫を督して餅の木板に摸富士を造

り紳士淑女と稱する野獸三千人を招

居る云ふ、流石紳士閥の子弟だけ

は充分に學資を貰ひ乍ら苦學生の職

業を奉ふて遊蕩費を稼ぐ爲め貧民の

子弟なる眞の苦學生は非常に迷惑し

もなり（四）紳士閥の子弟父兄から

樂む紳士閥の事なれば驚喜するも最

も（五）遊蕩費を稼ぐ爲め貧民の

子弟なる眞の苦學生は非常に迷惑し

もなり（四）紳士閥の子弟父兄から

革命

○世界の風雲

馬呼革命! 革命の爲には何物を犠牲にするも敢て辭せず、怒濤の如き勢ひを以て日に々進撃しつゝあり。吾人は近き将来に於て、露帝の首が断頭臺上に曝さるる日の來らんを信する者なり。最近電報は報じて曰。○爆裂彈にて革命の資を得。約七十二名の革命黨員は税關收入十萬磅を搭載せる郵便列車を波蘭ノフ停車場に於て捕獲し同時に電信電話を切断し、見張を備えたる後、爆裂彈を以て該列車を爆發開爆し所持せる袋の中に没し込み全全力を以て其行衛を暗ませり。○聖得彼堡に於て三萬八千六百磅の海關收入金を國庫に運搬して破壊し、該金額悉皆を沒收せん其神速なる、其巧妙なる事、吾人の

西比利亞に流されたる革命家、勞働協會委員長クラスター氏は、革命運動に使用せん目的を以て、新式機械砲を窃取せる事露顯し、公民權を剥奪されし上西比利亞に流されたる。○前内務大臣シビグインを暗殺したる共謀者として西比利亞に流されたるジースチヴァニン氏は、水桶の中に隠れ幾多の危険と辛酸を犯して遂に遁れたり。○ルニコフ氏もまた苦心酸嘆の結果同處を遁れたり。革命は議論に不非して實行なり、彼等は不幸死刑に處せられたるも、再び逃れて革命運動に狂奔つたり。軍隊内の革命黨、クスカ聯隊のダ

○政府の間諜革命黨に投す
間政府の間諜として暗殺隊に出入口で二ヶ年
る一少年露政府の壓制と腐敗に刺蝟せられ、直に革命黨に投す
○大學内の革命黨露國大學生は日本に日に革命的性格を現はしつゝあり
先に彼等は革命運動を爲すが故に二
年年の間校門を閉されたが、今や再び開校するの運に接せり
由來露國大學は暴逆なる政府の直韓なりしが、時勢は遂に黒き手をして退ぞかしむるに至れり、自治の制度一度延るや、以前に倍せるの學生集り來り、茲に再び革命家の城砦は築かれたり、集合は自由に聞かれ、外部の同志また彼等に來り投す、講義教授また心を等しくして集り、懸念設備調うて遂に動かすべからざるの

◎殺人を獎勵するは誰乎 合衆國憲法
計局の發表する所に依れば 過去五年間に於て殺人罪を犯したる無業者
四萬五千人、昨年一ヶ月に於ては
一千七百六十人は此恐るべき犯人の手
によりて生命を奪はれたる者なり、
判事ギアフナ憤慨して曰く「之れは
律の不完全なる点で、警察の腐敗か
基くものにして如斯状態を繼續せし
ば益々罪人を増加するのみで、由來
世人は現象をのみ見て其根本を究め
ず、如何に法律及警察制度を完全に
せばこそ、其根本を改むるにあらず
んば不可なり、資本家制度を是認す
るは殺人罪を獎勵すること等し
●無政府黨と皇太后 嗣國皇太后の
守衛の任に當れる警吏は丁抹の國債
を越むたる一婦人を追跡せしに、果
して本後の身邊を襲ふ無政府黨員な

無五
法子の外、佛國は今
佛國西の國民的自殺
統計を併にせり、そは「昨
年に於ける同國総出產數僅に一萬
九百七十八人に過ぎざることなり、一婦
一夫にて三人以上の子を生まざること
を以て公衆の満足と、防禦に適ふ
との主張する國民協會も甚だ不祥た
ひと爲し國民祿なりと云々云々を可笑し、國民祿の文字、國民祿豈止
る發露したる事實ならんや、資本家
の手先なる經濟學者何ぞ云々しや
労働者は自己の收入の範圍内に於て
兒を産めよと教へしにあらずや、彼
等佛國資本家が國民祿、國民的自殺
として漸減出產比例を責むる可憐
労働者は、兒を産むも責られ、産ざ
るもの責らるるなり、噫資本家主義の
國民を戕滅し、迫害するを知ざる國
民は、自殺を遂るも天なり、命なり

之によりて學ぶ處多し
革命家は死刑を恐れず、バルツック地方の農民二十三名タルセンに於て暴逆なる軍隊に反抗せるの故を以て八名は死刑、一名は絞首刑に處せられたり。○聖彼得堡に於て郵便馬車に爆弾弾を投じたる八名の革命黨員及び將に謀反事件を判決せんとするクロンスツット軍法會議所を爆發せんと企てる五名の革命黨員(内二名は婦人)は何れも死刑に處せられたり。唯彼等は死せり、然れどもそは如何に美しき死なるよ、數十萬の露國平民は懶こ冷こに泣きつゝあり、暴逆なる政府は迫害の轍を擧げて壓制亦壓制、彼等はこを見るに忍ばざりき、涙の人は亦意志の大人、憲憲遂に禁する能はず、爆弾を

ルゲーフ中尉は、穏然悟る處るありて、即ち反旗を翻したるが、遂に捕らえられて西比利亞に送らる。○旅順の勇將ボルガーフ大尉は、日本に於ける露國捕虜中の革命的擾亂に關係するの故を以て投獄せらるゝ今や苦命志想は皇帝唯一の保護者なる軍隊内に迄侵入しあり、吾人は今よりザーの將本を想見するに難からず、革命歌を歌ふて入營す。新たに召集されたる六百の壯丁、悲壯禦裂なる革命歌を歌へつゝ本營に集る、士官の停止するをもきかさりし爲め、數名捕縛せらるゝ軍隊は壓制政府の番人なり、野蠻の遺風なり、誰かが地獄の門をくぐる者ぞ、而も彼等に於て心大に期する處あり、新兵諸君は心中に胸に自由の文字を抱き、革命歌を歌

等によりて企てらるゝなり、爆裂は實に大學の科學室によりて製造されつゝあるなり、戀愛と煩悶と辱めを以て遇せらるゝ日本の學生此言を開て耻る處なき乎。○革命の風雲。記者筆を攬かん。云は王座を包み、ザーは恐怖の雲を知らず、クロンスタットの軍港は包围の状態にあり、政府は革鎮壓するに猛烈なる手段を取り、南方露西亞また騒擾せんとす、石油の大產出地なるバクに於ては、労働者一令の下に蜂起するの準備なり、クリミヤの首都カルタ府は防衛地帶と宣告され、タンツ、サスラフ、クルスクも亦戒嚴令を宣布された。

りき、貴族と富豪は人類の敵なり、
彼等今にして醒めずんば爆裂彈の如
見舞は免れざるべし。

を取ひ入に會ひ、せ語、役満に沙子、口實、御

革命

●社會問題・教會

●傭侶の冷淡。『數月前我黨の委員が紹興市の美以派書籍店に社會的經濟的教訓を書いた基督教の論文或は新聞でも何でもあらば送つて貰ひたいと申送つた、然し長時何等の返報がない、次便に對して論文と書籍の目録を送つて呉れた、そこで我委員は丁寧に社會的、經濟的教訓を書いた基督教の文書、物、新聞が必要であるのだから其見本を送られるやう申送つたのである、で我々種々なる主意の論文や小冊子數十部を受取つた、だが其中一部でも只だ一語競争と罪惡、犯罪と貧窮、殺人などと諷示する社會的、經濟的教訓に付してはなかつたのである。

●社會的現状更に社會現狀に付て

今日の労働者は農園、大工場、小工場、礦山其他到る處に於て労働者の大半は掠奪せられて居る、財産の大部分は掠奪せられて居る、財産者は一年間に四百三十七労を受取る者もあらんや。

●社會的現状更に社會現狀に付て

是れ過般紐育市に開かれたる美以

教會會席上に於てシーサー、シーボガン氏の基督教社會主義者として演説せる一節なり、讀み來り誰か想像の社會問題に冷淡たるに驚かざるものあらんや。

●社會的現状更に社會現狀に付て

幸之れ現在社會制度上生活問題の争ひより來たるのなるに拘らず美以教會では社會的、經濟的、產業上

の問題に關して聖書の地位及び教會の立脚地を明かにした何物もないことを知つたのである、

是れ過般紐育市に開かれたる美以

教會會席上に於てシーサー、シーボガン氏の基督教社會主義者として演説せる一節なり、讀み來り誰か想像の社會問題に冷淡たるに驚かざるものあらんや。

●社會的現状更に社會現狀に付て

斯く人は一日二労以上入用である

ならば米國の平均賃銀一労二十五仙

で如何することが出来やう。シカゴ

長ハード氏の返答である

斯く人は一日二労以上入用である

ならば米國の平均賃銀一労二十五仙

で如何することが出来やう。シカゴ

市に如き一家族の食費七十五仙を要する其七十五仙も單純なる一回の食

は住民の食ふ數倍を生産して居るの

である。

ニージーランド、オーストラリア、コロンビア、アルゼンチン、ベニ

エリコリオ等畜國では、數百萬の

勤者の賃銀平均年四百三十七労一日

殆ど一労二十仙美以教會管轄の年

給五千弗は可憐なる、保護者なき勞

利子、地代、利潤なる名義のも

とに外方なる割合にて取去られ、其

他種々私有資本の強奪に遭ふた結

料である、合衆國の鐵道大夫は一日

の賃金が南部に於て四十七仙より北

部では一労二十五仙迄で激動し、市

街鐵道の車掌、駕車の賃銀一年三百

二十労より四百六十労迄の間を激動

し、ショーラヤの紡績の労働者の賃

銀は平均一年二百三十四労である、

シカゴより賃銀奴隸第の説明書が

來た『シカゴ市スタンダード石油會

社の駕車同盟の事務係ダッフルヒ氏

該會社の支店長ハード氏に問ふ、足

下は一日二労の金で家族を支へて行

くことが出来るか、ノー出來ない、

よし然らば余は足下に云ふが駕車百

薪炭三十仙、燈火七仙、一食は行先

名は二労の賃銀ではないか、これ

で彼等は皆一家族を養はねばならぬ

のだ、家賃五十仙、食物七十五仙、

薪炭三十仙、燈火七仙、一食は行先

下は一日二労の金で家族を支へて行

くことが出来るか、ノー出來ない、

よし然らば余は足下に云ふが駕車百

薪炭三十仙、燈火七仙、一食は行先

名は二労の賃銀ではないか、これ

で彼等は皆一家族を養はねばならぬ

のだ、家賃五十仙、食物七十五仙、

薪炭三十仙、燈火七仙、一食は行先

下は一日二労の金で家族を支へて行

くことが出来るか、ノー出來ない、

よし然らば余は足下に云ふが駕車百

薪炭三十仙、燈火七仙、一食は行先

名は二労の賃銀ではないか、これ

で彼等は皆一家族を養はねばならぬ

のだ、家賃五十仙、食物七十五仙、

薪炭三十仙、燈火七仙、一食は行先

下は一日二労の金で家族を支へて行

くことが出来るか、ノー出來ない、

よし然らば余は足下に云ふが駕車百

薪炭三十

通俗社会主義論

緒言

一

(五)

革命

▲今より殆ど百年以前に其端を開始した社會主義は、是日一日と其勢力を逞しくし、歐洲全土を震撼して米國に渡り、其餘勢遂に絶東の新興君子國に迄達せり、今や孤島の春醒るに乘じ歐米の天地に蒼々と耕され、而して既に其一部は眞紅なる嫩芽として萌出たる等しき革命の卵種は、暖かき心もてる人道の志士によりて、日東國の津々浦々の鄧に至るまで蒼かれ且つ耕されつゝあるなり。

▲此大勢を見たる日本政府は、周章狼狽事の理非を究めず、曲直を辨へずして、無暗に壓制なる帝の手と、暴虐かれたる或は將に蒼かれんとしつゝある革命の卵種を、永遠つきざるの暗に葬らんと、人を導いて牢獄に連れて、其他陰に陽に暴露卑劣の銃鎗を作り、燐燐目を眩まし、戰慄し、黄金の垣根を廻らし、其極に達せる手段を弄して迫害に迫害を重ね、壓制を重ねつゝあ

り。▲第聴者の生虫たる貴族、富豪、地主等は舉て此新來せる主義に驚怖し、其傳播を防ぎつゝあり。政府の御先棒、紳士間の御提燈持連たる學者、宗教家、教育家、新聞雜誌記者等は、他方面より大舉して

來り、筆を曲げ、口を揃へて馬鹿譏笑して、社會主義に反抗しつゝあり。▲社會主義は、政府及び紳士間に関する連せる人々より、亂臣賊子、馬鹿狂人、惡魔、非道理、無茶苦茶論として追害され、壓制さるにも拘らず、過度の労働をなして猶且貧困と戰ひつゝある可憐の工場労働者、暑きにつけ寒きにつけ、心神と肉体を痛め、得たる秋の收穫の過半を、殘忍なる地主に強奪され、弱き農場労働者食はんとして食なく着んとして衣なし、働く働きとして職なきの貧民等は狂喜雀躍、等しく主義に歸依しつゝあり。

▲何故に一は是なりとして主義の傳播をはかり或は歸依す、何故に他の一は非なりとして之を鎮壓せんとはしつゝある、是なるものは是ならずや、非なるものは非ならずや、明瞭なる事實は常に明瞭なる證明を吾人に與へつゝあり、何等の辯難、論争を敢て要せざるが如くなれど、實際は之に反せり。

▲嗚呼、何れが是にして何れが非なるかは、吾人は事實の示すところに従つて其黑白をたゞさんと欲す。

▲善には善報あり、惡には惡報ある。是れしき者の盜をなすは何故ぞ、可は動かすべからざるの言なり、然れども現時の世態は然らず、大盜は白

いの武器たる印刷機械を強奪し、刊物を掠奪し、或は發行を禁止し集會を解散し、其他陰に陽に暴露卑劣の銃鎗を作り、燐燐目を眩まし、戰慄し、黄金の垣根を廻らし、其極に達せる手段を弄して迫害に迫害を重ね、壓制を重ねつゝあり。

▲第聴者は、是れしき者の盜をなすは何故ぞ、可は動かすべからざるの言なり、然れども現時の世態は然らず、大盜は白いの武器たる印刷機械を強奪し、刊物を掠奪し、或は發行を禁止し集會を解散し、其他陰に陽に暴露卑劣の銃鎗を作り、燐燐目を眩まし、戰慄し、黄金の垣根を廻らし、其極に達せる手段を弄して迫害に迫害を重ね、壓制を重ねつゝあり。

▲吾人は是なる富豪なく、餓たる者に凍え冷てに苦しむ、忠實なる者は職を失ふて路頭に迷ひ、侮辱と冷笑を以て向へられつゝあるに不非哉。

▲今世にて善をなせば惡の報あり、惡をなして善の報来る、表裏顛倒、黒白其差別を同すといふべし哉。

▲社會の現状既に如此、此間に處する人間のいかで向上的階段を登り得べき、誘惑の赤き網は、重八重に其身を縛して、限りなき奈落の暗底に墜落すべくよきなくせらるゝなり。

▲人よ、諸君は諸君の片割なる同類の如る如に日に罪惡の深淵に彷徨つゝあるを如何に見給ふや、吾人はそを傍観すべく餘りに屢多くなり、否々吾等自身さい當に其渦中に巻込まれん。

▲然らば如何にすべき、危機一髪の間にある、宗教に依らんか、神は終の罪悪を悔改によりて宥し玉ふも、吾人は之を思ふと悚然として身の毛

立つゝあり、是れにして何れが非なるかは、吾人は茲に於て病原の這邊にあるを知れり。

▲惜むべきは資本家制度なる哉、恐るべきは資本家制度なる哉、此制度一日多く存在せば人はより多く情落

すべし、此制度一月多く存在せば人能ふと思ふ乎、社會を改革し能ふと言ふか、愚なり愚なり眞に愚なり、誰全知全能なる神の力にてさへ救ふ事

不能る今世の中にあらずや、此病原を救ふは只社會主義あるのみ、如何となれば社會主義は總のもの救ひ能ふべければなり。

▲故に、社會主義の世には、勞働者

の富を強奪する富豪なく、餓たる者の血を吸ふを業とする貴族なく、金

力と權力とを掠奪されて壓せらるゝ平民なく等しく人間としての自由と

平等と幸福とを享し得るなり。

▲斯て猶社會主義を非道理といふか

實は明白なる證明にあらずや。

▲社會主義を迫害するは自由を迫害を馬鹿さしふか、狂人と呼ぶか、事

くして何の人生ぞ、人は眞に自由と

幸福によりて生るものなり。

▲社会主義を反対する者なし、壓制と勞働者

の血を吸ふを業とする貴族なく、金

力と權力とを掠奪されて壓せらるゝ

平民なく等しく人間としての自由と

平等と幸福とを享し得るなり。

▲社會主義は、政府及び紳士間に関する連せる人々より、亂臣賊子、馬鹿狂人、惡魔、非道理、無茶苦茶論として追害され、壓制さるにも拘らず、過度の労働をなして猶且貧困と戰ひつゝある可憐の工場労働者、暑きにつけ寒きにつけ、心神と肉体を痛め、得たる秋の收穫の過半を、殘忍なる地主に強奪され、弱き農場労働者

は食はんとして食なく着んとして衣なし、働く働きとして職なきの貧民等は狂喜雀躍、等しく主義に歸依しつゝある。

▲社会主義を反対する者なし、壓制と勞働者

の血を吸ふを業とする貴族なく、金

力と權力とを掠奪されて壓せらるゝ

平民なく等しく人間としての自由と

平等と幸福とを享し得るなり。

▲社會主義は、政府及び紳士間に関する連せる人々より、亂臣賊子、馬鹿狂人、惡魔、非道理、無茶苦茶論として追害され、壓制さるにも拘らず、過度の労働をなして猶且貧困と戰ひつゝある可憐の工場労働者、暑きに

つけ寒きにつけ、心神と肉体を痛め、得たる秋の收穫の過半を、殘忍なる地主に強奪され、弱き農場労働者

は食はんとして食なく着んとして衣なし、働く働きとして職なきの貧民等は狂喜雀躍、等しく主義に歸依しつゝある。

▲社会主義を反対する者なし、壓制と勞働者

の血を吸ふを業とする貴族なく、金

力と權力とを掠奪されて壓せらるゝ

平民なく等しく人間としての自由と

平等と幸福とを享し得るなり。

▲社會主義は、政府及び紳士間に関する連せる人々より、亂臣賊子

亂雲飛雲

正義呼りや、人道呼となさしむ、何たるの白痴ぞ、掠奪階級の存在する限り、労働者に衣食住の自由と保障のなき限り貧困者の存在する限り、排斥の聲は絶へざるべし、日本政府たるもの、モ一少しき考へ直しては如何。

●唯革命主義あるのみ 排斥を嫌うるもの、Jap Siebel の侮辱を好まざるもの、奮起一番、各國の主權者は勿論、貴族富豪、其他紳士閥に屬するあらゆる者、及其階級の保護者、應援者たる學者、宗教家、軍人、官吏等を滅亡せよ、而して第一に飢えたる労働者に衣食住の自由と保障さ

●主權者の高等意義。主權者は主權者として存在するに不非して存在せしめられたるなり。紳士閥(經濟的權力階級)の私利私腹を肥すの道具に使用せらるゝ虚驚動物に過ぎず甘い汁を吸ふためだしに用ひらるゝ木偶に過ぎず、故に神聖も忠義も、へかもあつたものにあらず、如斯き掠奪階級の手先に使はれ得たるに至ては其愚。其隣愾もに堪たり。●國家は吸血場なり。政府は其機關なり。主權者、貴族、富豪は国民の膏血に寄生する條虫にして、政府は其膏血を絞りあぐるポンズなり。如斯くんば國家存立の理いづこにがあ

切賣、又小賣賣は、丁度萬年町、或
筋ヶ橋に於ける、殘飯の賣買の行
れる事等しく、境遇上止むを得ざ
ることにて、女郎賣は勞働階級に對
する一種の結婚制度に外ならぬもので
ある△洋を賣買する、ソリヤ勿論悪い
相違ないが、今いの結婚を見よ、多
くは經濟的だ、強姦的だ、何處にた
久松のそれの如き純潔なる愛の結
があるか、もしゐる可すれば、そ
は財産、名譽、權力に伴ふ愛であ
たから、財產、名譽、權力を失
時に於て、或は失なはんとする時
於て、夫婦間の愛が、著しく動搖

● 革命の先鋒者　主權者、貴族、豪は労働者の財を掠めたり、吾人へそを取戻さざるべからず。今世は金の世中なり、命もいちらん。名譽もいらざる。革命黨も、金なし。は革命が出来ず、故に革命の先鋒として盜賊隊を組織し、奪はれたるのを奪ひ返さざるべからず。

● 唯一の革命手段　唯一の手段は、裂弾にあり、革命の資を得るも爆弾なり、紳士階級を破壊するも裂弾なり、資本の合同と貧民の急義や議會政策は、恰も猛火中に小水の水砲砲を打に等し。

◎所謂醜窟と矯風運動

て女を見し事なしと断言し得るや
未だ一度も手淫罪を犯せし事なしと
公言し得るか
△思へ諸氏、所謂醜態の生するも、
淫賣的結婚の行はるゝも、姦通も、
強姦も、皆なこれ男女間で於ける
愛の満足を得ないからである、愛の
満足を得ないのは、生活上の困難の
基因するのである、然らば人類の生
活をして豊ならしめよ、愛する者を
眞に愛するを得せしめよ、互に樂し
き家庭をもつ時に於て、何處に醜態
を生ずるの餘地があるか、淫賣的結
婚の行はるゝ必要があるか、姦通、
手淫はその迹を絶すべし

れ、又は全く消滅するのである
△金のある者は金を以て美人を買ひ
名譽のある者は、名譽を以て良妻を釣
る、權力ある者は、權力を以て婦人
を手込めにす。これ今日行はれる結
婚制度ではあるまいか、而して彼等
は三年、五年、十年、或は三十年、
結婚と云ふ儀式の下に公然法律の許
可を得て姦淫罪を犯して居るのでは
ないか。
△思へ身を矯風運動に投する善良な
基督教徒諸子、卿等は十年の淫賣
的結婚を是認し、所謂ECSなくして玉
の輿に乗るを女子無上の榮譽とし、
掠奪の結果宏大なる邸宅を構へ、天
下の美人を拉し來り、貞操と稱する
猿轡を布め、以て淫慾を恣まんにす

に向つて發動し戀々綿々忘る可からざるが如きもの之れを戀愛と云ふ戀は相異なれり、其區別を明瞭に知ることを要す。田夫野婦村祭に相戯れて子を産みたる之れ戀なり、置戀と云ふ時は色慾のとなり、男は慢に異性と結合せんとするの欲なり、戀愛には確然たる相手者ある情にあり、特別の一人に向つて發動するの意義にあらずして甚だ漠然わたり、慢に異性と結合せんとするの欲を要す一郎の代りに二郎を以てするを得ず、菊の代りに花を以てすべからず、其戀するや情緒綿々斷つ可からず直行的なり狂的なり彼の戀々綿々遂に病むものは處女の戀なり

●戀愛私見 岩佐生

に彼の女の住所を教へ又コーヒー・セットの急報をマルヌスの手に致して自害し死するに臨みマルヌスに自己が戀せることを告げ死後一接吻を要請するが如きはユーポー先生の書ける可憐の戀なり(中畧)夫れか如斯戀愛は遂情以上なりと雖性情を離れて存在すべからず木下氏の「良人の白玉の像」三に於ける切々たる情死も亦辭せざるべきも性慾の伴はざる故に戀愛に非らざるなり要するに戀愛は戀より出でて聖化したるもの云ふ可き乎僕の戀愛觀上の如し然れ共之れを以て僕の自由戀愛論、戀愛の神聖なりてふ者也誤解せざるを要す(下畧)

火は放つて男の顔を見んと冀うはれ
七の戀なり猶太の美姫の切なる情も
せざるはアバランホーの戀なり
戀愛は特定的なり特別の一人に捧ぐ
る至情なり權もまく可からず、美
も亦代ゆ可からず死亦奪ふ可からざ
るなり、世の淫湯の児美姫を抱いて
あり妻子の愛を捨てゝ其女に通ふ
が如き淫婦淫兒と戯れて忘れる能はず
夫の目を盗んで姦するが如き青年男
女の前後の考へなく相戯れて子を産
み或は人に覺られて狼狽爲すことを知
らざるが如き特別の一個人と相干涉
するものばるも戀にして戀愛にあら
ざるなり、況や無智の従親子兄妹の
相姦するが如き戀愛にあらざること
勿論なり戀愛は色慾の發動に基くこと

